

天王寺駅前から我孫子道まで



15th Anniversary (2009-24)

ナカノシマ大学2024年11月講座Special

不思議な「阪堺沿線文化」を知る①



上/待合所が可愛らしい姫松停留場 右上/大正9年(1920)、住吉に設立されたツバメ印のニットレコード
([「大坂営業大観」より]) 右/20世紀初頭、帝塚山で産声を上げた摂津酒造の広告([「住吉区誌」より])
右下/昭和10年(1935)創業、住吉の洋食店[やろく]の暖簾。人気作家や棋士が最員だった

11/7(木) 18:00~19:40

会場 大阪府立中之島図書館 (3階多目的スペース)

受講料 2,500円 (小学生以下1,500円) 定員 60名

講師 陸奥賢 (観光家、commons・デザイナー)

主催 ナカノシマ大学事務局 (株式会社140B)

企画協力 大阪府立中之島図書館 (指定管理者ShoPro・長谷工・TRC共同事業体) 協力 阪堺電車



19世紀から125年も走っている! 大阪でも堺でもない「阪堺文化」エリアの謎。

阪堺電車が走り始めたのは、地下鉄が登場する30年以上も前の明治33年(1900)。大阪市内各所にタワーマンションが乱立する現在でも、この沿線はちょっと違う、のびのびとした空気が漂っています。その心は? オダサク、梶井基次郎、伊藤静雄、庄野潤三など近代大阪を代表する作家ゆかりの地で、国産ウイスキー発祥に繋がる摂津酒造や、「道頓堀行進曲」で有名なニットレコードなど大阪の近代産業が産声を上げた地でもあります。文学・音楽・そして郊外田園都市の草分けでした。

「住吉さんに行くチン電」の顔だけではない、上町台地南部を走る「阪堺沿線文化」の豊かさを、陸奥賢さんの「目からウロコ」の講義で味わっていただき、休日には電車に乗って、まち歩きを楽しんでください。

〈講師からのメッセージ〉

阪堺電車の大和川以北、大阪市側の沿線周辺は非常に独特の都市文化圏を形成しています。「天下の台所・大阪」や「黄金の日日・堺」は古くからの商業都市ですが、「阪堺」はそうではありません。大阪、堺両都市の人口が爆発的に増大し、拡大・拡張される中から生まれてきたもので、阪堺エリアこそは近代大阪を象徴する新興都市といえます。まだ何者でもない若者たちが大勢集まり、次の時代を切り開くパイオニア、旗手になっていった、そんな進取気鋭の土地でもありました。沿線生まれの陸奥賢が、偉大なる沿線周辺の先人たちの歴史、文化、物語を掘り下げてご紹介します!



講師の陸奥賢さん

むつ・さとし 観光家、commons・デザイナー、社会実験者。1978年大阪・住吉生まれ、堺育ち。2007年に堺のコミュニティ・ツーリズム企画で地域活性化ビジネスプランSAKAI賞受賞。2008~13年大阪あそびプロデューサー。大阪七墓巡り復活プロジェクト、まわしよみ新聞(読売教育賞最優秀賞受賞)、死生観光トラップなどを手掛ける。2023年4月より福島の「いわき時空散歩」プロデューサー。著書に「まわしよみ新聞をつくらう!」(創元社)。大阪市立生涯学習センターで「大阪の魅力発信コース」主任講師を務める。ナカノシマ大学は3回目の登壇。

→受講申込は、こちらのQRコードからナカノシマ大学のWEBで受付します。

※次回は11月28日(木)18時予定……「祝・懐徳堂300年(ナカノシマ大学も15年)! 本と学びの場をつくる楽しさ」

講師=釈徹宗(如来寺住職・相愛大学学長) 河瀬裕子(泉大津市立図書館シーブラ館長)

